

勉強のやり方が
わからない



いっしょに宿題ができる

家に帰ると
一人ぼっち



規則正しい生活が送れる



友達といっしょに遊べる

／おかえり／

子ども
第三の
居場所

寝る時間も
起きる時間も
バラバラ

いつもお腹が
空いている



チャレンジできる機会がある

やりたいことや
夢がない



温かいご飯が食べられる

「子ども第三の居場所」
空間設計のためのハンドブック

- ・ 日本財団子ども第三の居場所 ミッションステートメント . . . P01
- ・ 小学生の放課後の居場所について P02
- ・ 環境づくりの目的一覧リスト P03
- ・ 空間の構成要素 P04
- ・ 各コーナーの目的 P06 ~9
- ・ 参考資料／空間の視線・見通し検証・パイロットプラン P10
- ・ 参考資料／感性を育むための空間演出の工夫 P11
- ・ 空間機能チェックリスト P12 ~ 16

日本財団 子ども第三の居場所 ミッションステートメント

すべての子どもたちが、未来への希望を持ち、
これからの社会を生き抜く力を育むことのできる機会と環境を提供することは、
大人世代の責任です。

しかし現実には、家庭の抱える困難が複雑・深刻化し、
地域のつながりも希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、
孤立してしまう子どもも少なくありません。

日本財団は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、
人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、
将来の自立に向けて生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を全国に拡げます。
ここをハブとして、行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、
誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくることで、
「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指します。

【放課後児童育成事業（学童保育）】と【子ども第三の居場所】

共通点・相違点



小学生の放課後の過ごし方・居場所の現状（概要）

小学生の放課後の過ごし方について。

概要（女性の社会進出に伴う学童保育利用者の増加等も含め）

学童保育の種類＝公共、民間企業の概要



平均的な学童保育事例を挙げ共通点・相違点を整理

	学童保育・公共	子ども第三の居場所 (常設ケアモデル)
立地	学校施設内・公共施設、児童館内	既存建物内、戸建て等
利用時間 平日 休日長期休暇	下校後～ 18:00 8:30～ 18:00 ※ 延長時間あり	14:00～ 18:00 8:30～ 18:00 ※ 延長時間あり
利用者	通学児童	生活困窮家庭児童
スタッフ	運営マネージャー1名 専門スタッフ (ボランティア含め) 数名	運営マネージャー1名 専門スタッフ 数名 パートタイム 数名
過ごし方 ・ 学習 ・ 遊び ・ 生活補助 (入浴等)	宿題、自習 校庭、体育館で自由に 工作、おもちゃで自由に	宿題、自習 工作、おもちゃで自由 に施設毎の対応あり
食事	無 平日：無 休日・長期休暇：お弁当 持参おやつ：あり	生活習慣（歯磨き等）始動あり 夕食：有 休日・長期休暇：有 おやつ：あり
送迎	保護者	保護者又はスタッフ
利用料	利用保険料：数百円 おやつあり：4～6000円	無料

参考：厚生労働省 放課後児童クラブ運営指針解説書 第6章施設及び設備、生成管理及び安全対策 1. 施設及び設備(1)施設より引用

放課後児童クラブには、子どもが安全に安心して過ごし、体調の悪い時等に静養 することができる生活の場としての機能と、遊び等の活動拠点としての機能を備えた専用区画が必要である。○ 専用区画の面積は、子ども1人につきおおむね1.65㎡以上を確保することが求められる。

- 民間企業・学童保育事業
- ・ 学習プログラムの充実＝専門講師の派遣（講座ごとの追加料金）
 - ・ 利用時間の延長と施設スタッフによる送迎（追加料金）
 - ・ 利用料＝通常時6万＋オプション 長期休暇（夏休み）8万＋オプション



子ども第三の居場所を設計するための「環境づくりの目的一覧」

ここで過ごす子どもたちが、人や社会と関わる力、自己肯定感、学習習慣等の向上から、自立する力を伸ばす、

それらの実現に向け、場の目的を明確にし、空間づくりへ反映することが必要です。

以下一覧リストは場の目的・空間づくりの工夫・反映する部屋・コーナーを設定しています。

設計条件を踏まえながら、当リスト項目の施設設計への反映を推奨します。

環境・場	目的	優先順位			空間づくりの工夫	反映するエリア・コーナー・部屋
		A	B	C		
全体を見渡せる	自分の居場所を見つける	○			見通しの良い空間、エリア・コーナーレイアウト	玄関・活動エリア・スタッフステーション
	活動内容を考える、予定を立てる				室内の音が聞こえる（遮音性は無）	
	自分で何かを決める、自立を促す				セキュリティの確保	
	スタッフに見守られている安心感・安全の確保					
	スタッフが全体を見渡せ、子どもの様子を随時把握する					
外光を感じる・外を眺める	解放感を味わう、外の様子をゆっくり眺める	○			窓、窓辺の椅子、ソファ	活動エリア
	風、気温を感じる、季節を感じる		○		ロフト・二段ベッド	
内と外をつなぐ中間	室内と部屋をゆるやかにつなぐ場所	○			ベランダ、ウッドデッキ、テラス、縁側	活動エリア
	活動の範囲を広げる、季節を感じる		○			
集中できる	ひとつのことにじっくり取り組む	○			明るい空間、手元を照らす照明、	活動エリア
	探究心を育む		○		姿勢を保つ机、椅子	
	絵本を読む、工作をする、絵を描く、勉強する	○			使用するもの、本等が近くに収納されている	
	パズル等の知育玩具で遊ぶ		○		こもれる場所、ロフト、二段ベッド	
他者と関わる	一緒に遊ぶ、おしゃべりする	○			対面できる場所、家具	活動エリア・相談室
	人と人との関わり、コミュニケーション力を育む	○				スタッフステーション
	自分の考えを言葉にする、相手の話を聞く	○				
日常的な習慣を身に着ける	手を洗う、片づける等日常的な習慣に取り組む	○			手洗いシンク、自分専用の収納	玄関・収納スペース
	食を通じて日常的な習慣に取り組む	○			みんなで使う収納、食事スペース	手洗い、WC、キッチン
活動につかう道具が見える	自分で活動内容を選べる	○			見せる収納が出来る家具、棚	活動エリア・収納スペース
	使用後に片づける	○			(本、おもちゃ、日用品、食器、等)	キッチン(刃物の収納は隠す)・手洗い
	整理整頓の習慣を身につける	○				
みんなですごす	数人で遊ぶ、一緒に行う	○			集まれる場所、	活動エリア・食事コーナー
	コミュニケーション力を育む	○			視線を遮るものを置かない、移動できる	
1人になれる	内省を促す、気持ちを落ち着かせる	○			閉鎖しすぎない仕切り、パーテーション	活動エリア・休憩室
					薄暗い照明(ろうそくの光程度)	
					周囲の音がかすかに聞こえる	
					横になれる	
自分を表現する	自分が創作したものを飾る		○		日常的に目する壁、棚の展示スペース	玄関・活動エリア
	活動の達成を可視化する	○			作品をファイルにまとめて展示	
	他者の表現を見る		○			
シンボルがある	室内にアート、ディスプレイを行う	○			視線に入りやすい場所に設置	玄関・活動エリア
	季節を感じる、生活を楽しむ	○			季節の伝統行事、歳時記、イベント	
					のディスプレイ(ひな祭、子どもの日等)	
スタッフの存在を感じる	見守られている安心感	○			視認性・こどものスペースにアクセスしやすい	スタッフステーション
	安全性の確保	○			セキュリティの確保	
					室内の音が聞こえる(遮音性は無)	
スタッフの働きやすさ	スタッフの気持ちのゆとりを担保	○			スタッフの休憩、気持ちのリセット、着替え	スタッフステーション
	仕事に集中できる	○			資料の収納・セキュリティ確保	

【子ども第三の居場所】に必要な空間要素～ゾーニングの考え方

【子ども第三の居場所を構成する4つの空間要素】



大人は施設の核となり
こどもの様子を見守り、
こどもは見守られる
安心感のある場。



衛生的な生活習慣を身につけ、
自身を大切にする。

<トイレ・バスルーム>
トイレ=清潔に使用するマナーも身につける
バスルーム=からだを清潔にする習慣を身につけ
ながら、スタッフ、こどもどうしでの
入浴の楽しさも体験できる場。



食をつくる・食べる・片づける体験を通じ、
生きるため・生活するための基本的な食育を学ぶ。

食を通じた団楽の場。



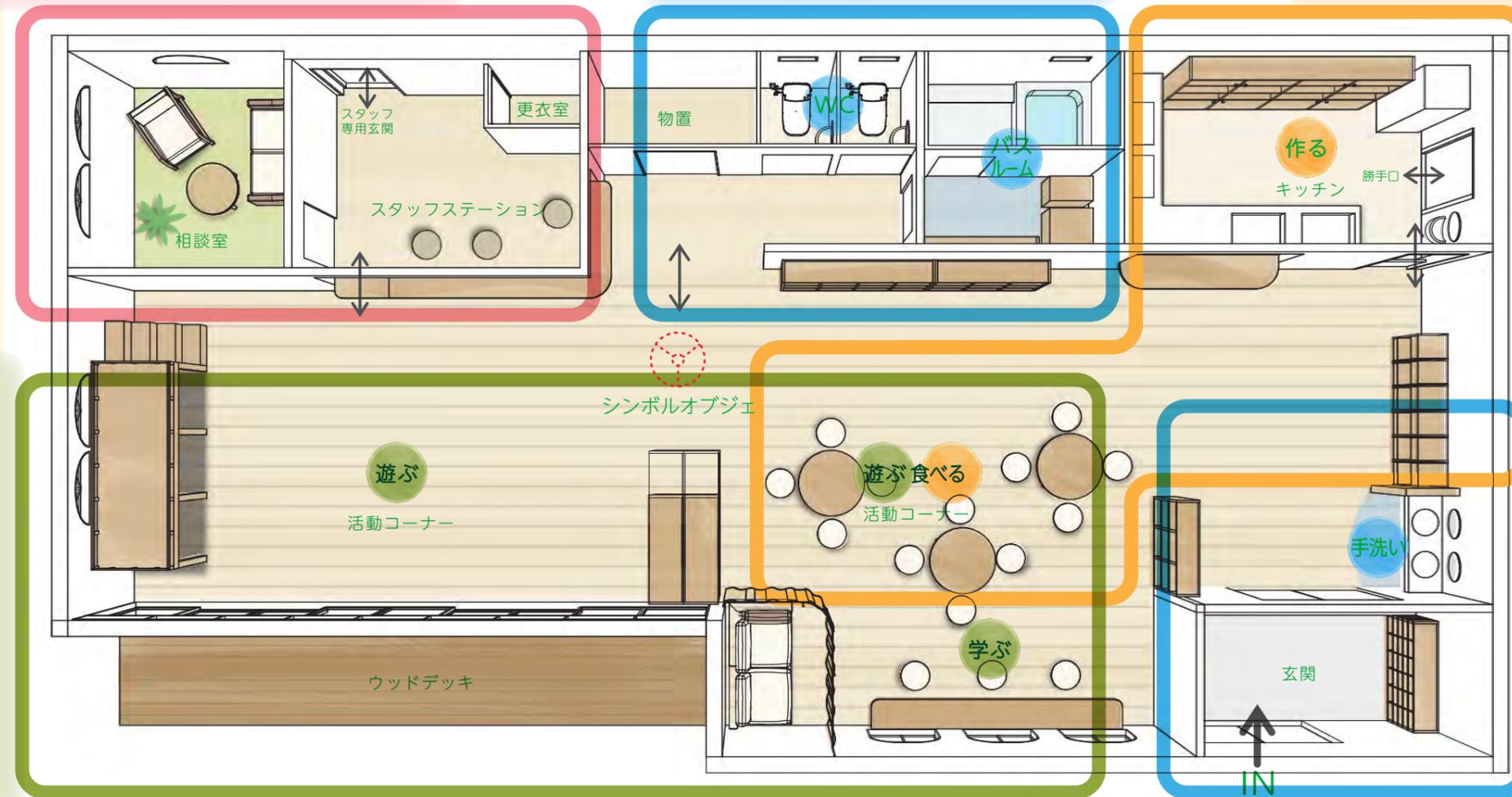
安全・安心な、居心地の良い環境で
学びと遊びを経験。

学び・遊びの空間を明確にし、
子どもの特性、状況に応じて
活動、体験の選択できる場

<活動コーナー>

学ぶ=スタッフと一緒に又は、一人で集中して取り組める、
状況に対応できる場を設け学習意欲、習慣の向上をサポートする。

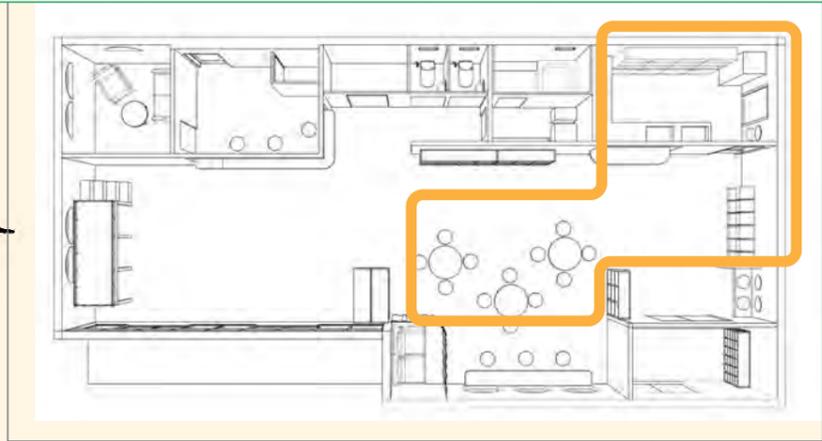
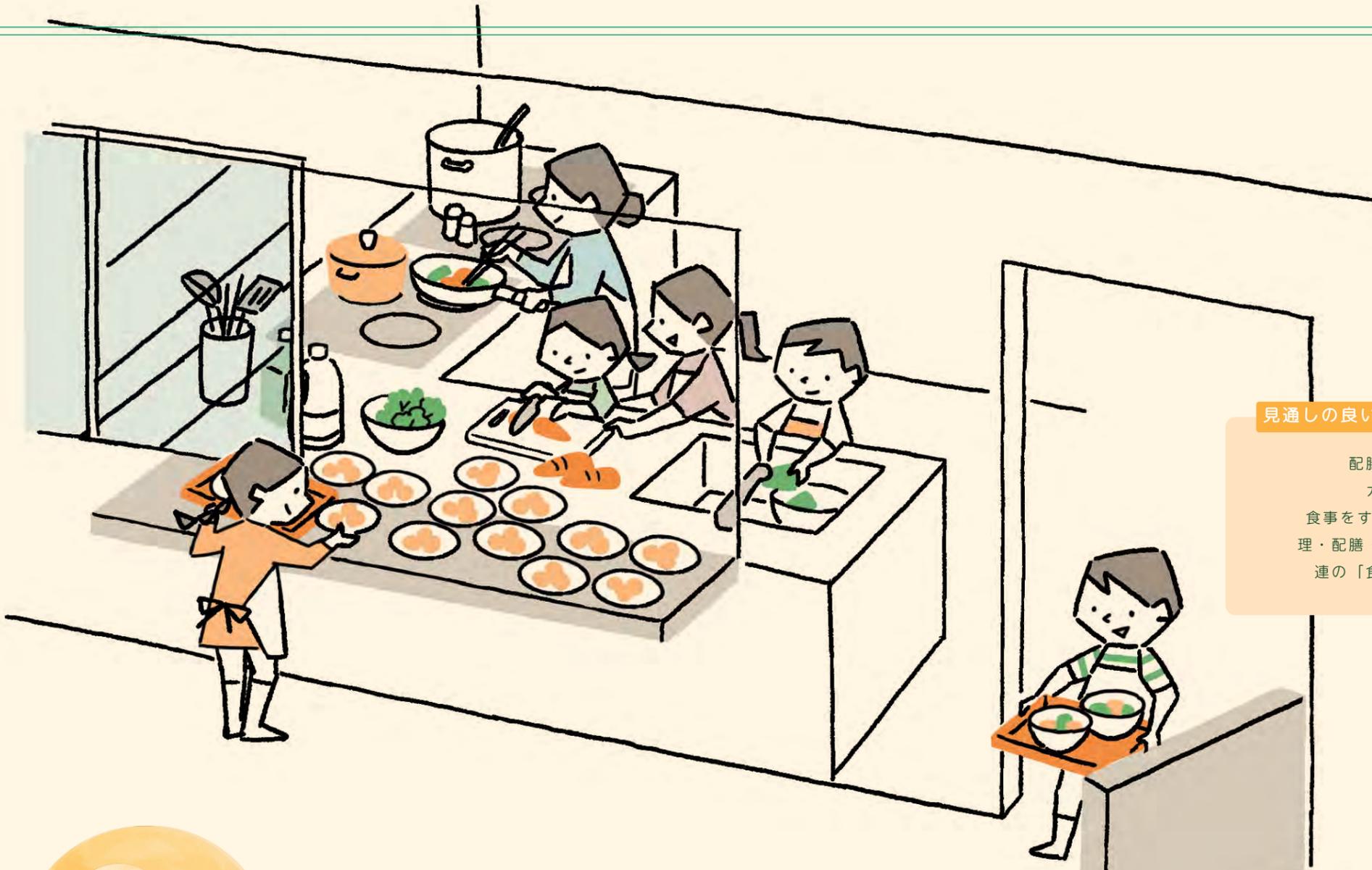
遊ぶ=こどもどうし、スタッフと一緒に人と人との
関わりの中で遊ぶ場とひとりでじっくりと好きなこと
に向き合うことが出来る場、双方に対応する場



ただいま、おかえり、の声
掛けから自分の居場所
であることを実感する。

<玄関・洗面所>

玄関=靴の脱ぎ履き等のマナーを身につける。
洗面所=手を洗う、うがいをする等の生活習慣
を身につける。



keyPlan

見通しの良いキッチン

配膳・下膳が行いやすい
カウンターを設置。
食事をすることもと大人と一緒に調
理・配膳・下膳を行うことにより、一
連の「食」の流れを身につける。



食べる

食をつくる・食べる・片づける
体験を通じ、生きるため・生活
するための基本的な食育を
学ぶ。

食を通じた生活を
経験する場

居間で子どもとおとなと一緒に食事

大テーブルを囲んで、会話をしながら、
食のマナーも学びながら子どもも大人も
一緒に食事ができる場。





安全・安心な、
居心地の良い環境で学びと
遊びを経験する。

子どもの特性・状況に応じて
学び・遊びの選択ができる場



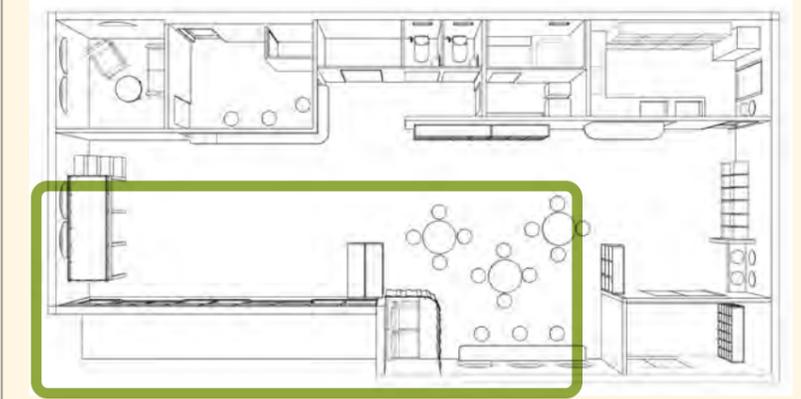
自分の荷物を片づける

片づけの習慣を身につけるための仕器。



学習する場

スタッフと一緒に、
ひとりでじっくりと学習する場。



keyPlan

ひとりの時間を過ごせる

読書をしたり、
気持ちを落ち着かせる
ひとりになれる場。



向き合う場

こどもが情緒不安定になった際に
スタッフがじっくり話をきき、語り合う場。



使ったものを片付ける

学習道具やおもちゃを片付ける習
慣を身につけるための仕器。
片づけやすい収納の工夫。



すごす

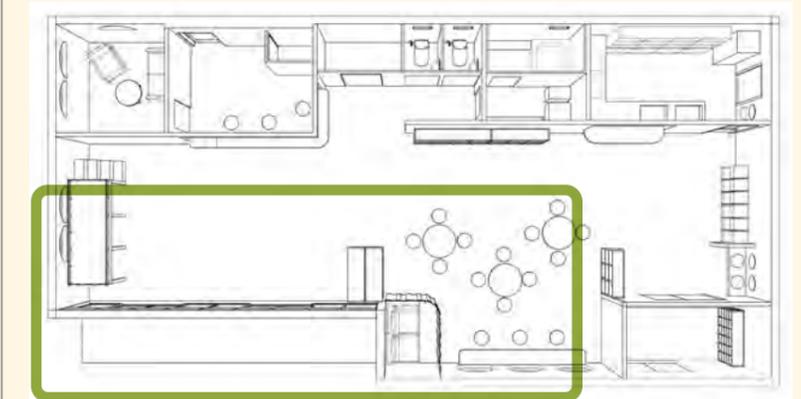
安全・安心な、居心地の良い環境で学びと遊びを経験する。

子どもの特性、状況に応じて学び・遊びの選択ができる場



大テーブルを囲んで過ごす

食卓も兼ねる。対話が生まれる環境をつくり、人と人とのコミュニケーションを経験できる場。



keyPlan

みんなで過ごす

スタッフや上・下級生との異年齢交流、読み聞かせ等が出来る場。



みんなで過ごす

広い場所でみんなと一緒にひとつのことに取り組める場。



季節を感じる

ベランダ・縁側・庭で、四季を通じて植物を育てる。夏=ビニールプールで遊ぶ、など、さまざまな経験を可能にする場。



視線の変化

目線が変わるロフト・二段ベッド等の什器。読書やパズル、お絵かき等、静かに遊べる場所。こども「お気に入りの場所」づくり。





暮らし

衛生的な生活習慣を
身に着け、
自身を大切にする。

衛生を通じた生活を
経験する場



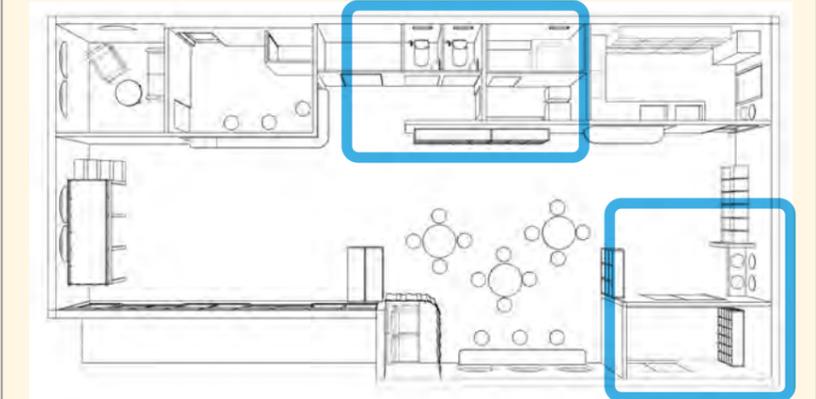
手洗い・うがい

玄関から部屋に入ってからすぐに
手を洗うための手洗いシンクを設置。
手洗いうがいの生活習慣を身につける。



はみがき

手洗いシンクで
食後の歯磨き習
慣を身に着ける。



keyPlan



入浴

体を清潔にすることと併せ、
子ども同士でお風呂を楽しむ。
暮らしを楽しむことを経験。



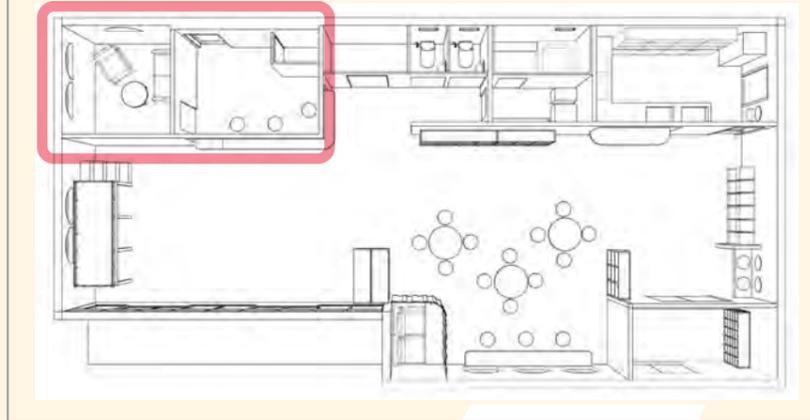
入浴

スタッフがサポート。
お風呂の入り方、洗い方を習得。
清潔にすることの心地よさを実感する。



こどもの様子を見守り、
こどもは見守られる
安心感のある場。

施設の核となる場。



keyPlan

スタッフステーション

スタッフステーションは開放的で、
室内をほぼ見渡せる空間配置を工夫する。
こどもがきがねなくアクセスできるよう
低めのカウンターを設置。
書類、事務用品等の
執務エリアはカウンター奥に設置。

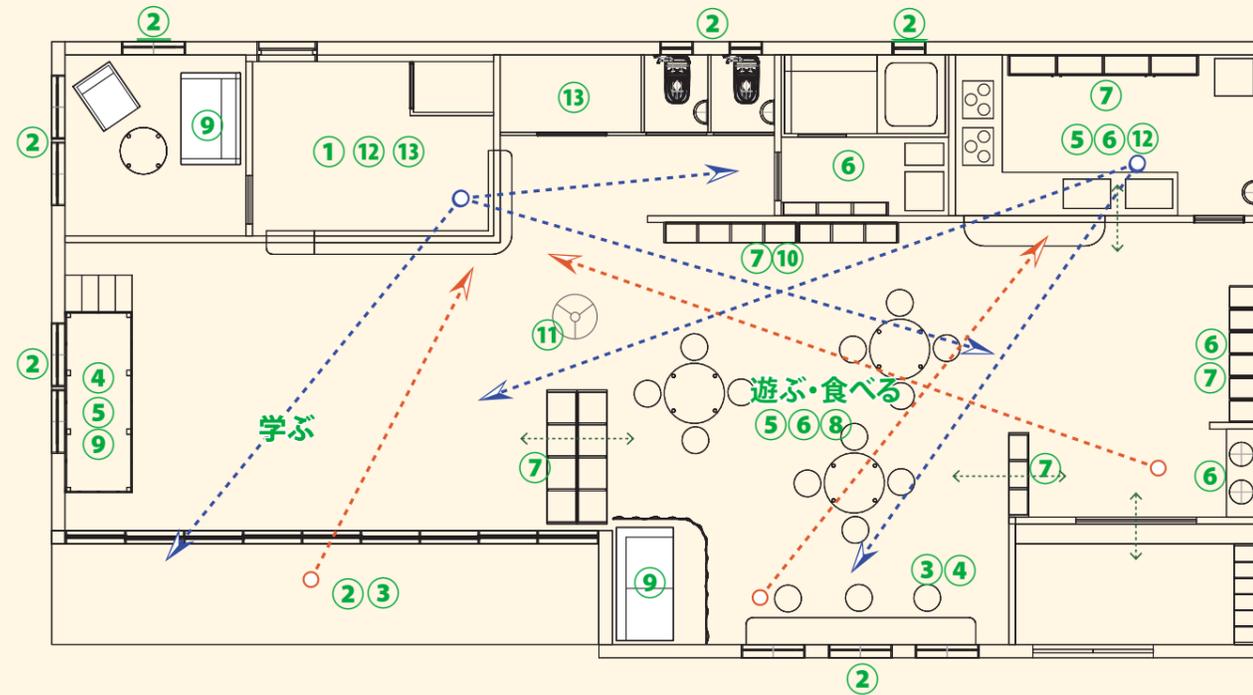
相談室

相談室は話しやすい、リラックスできる
空間づくりを心掛け、保護者や関係者が気兼ね
なく訪問できる場づくりを行う。
家具にはソファベッド等を採用し、
体調不調のこどもの休憩室も兼ねる。



【環境づくりの目的／見通し検討】

空間の見通し検討は、スタッフが子どもを常に監視するためではなく、スタッフと子どもが離れていても、お互いの気配を感じ、安心感を得ながら過ごせる空間づくりを実現するために必要です。



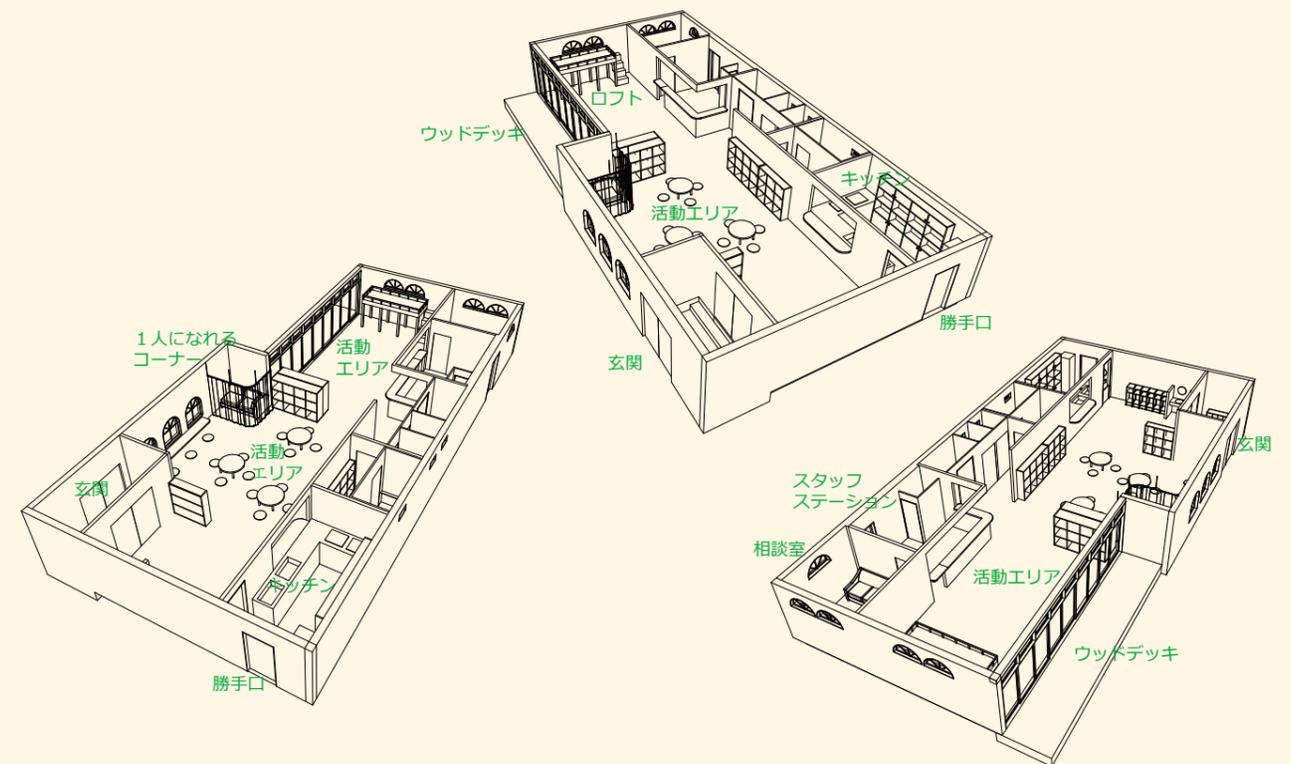
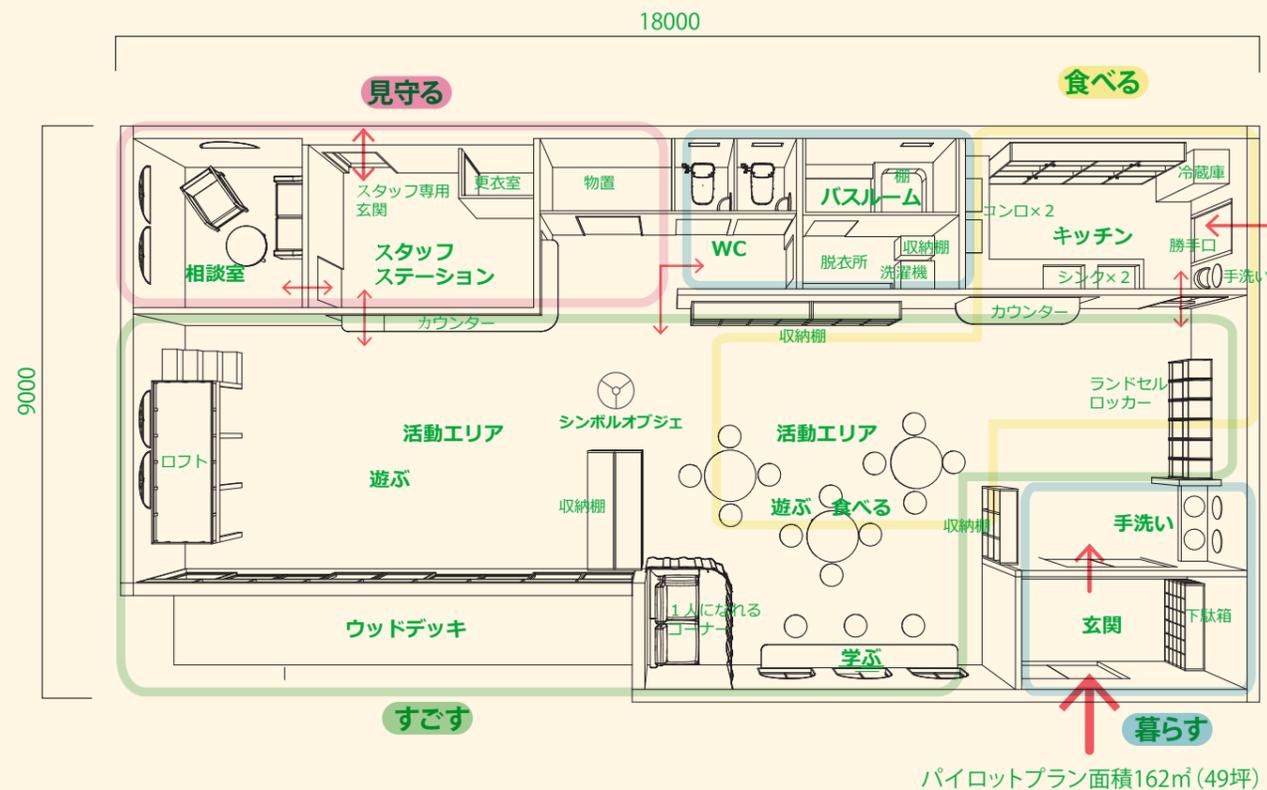
【環境づくりの目的】

- ① 全体を見渡せる
- ② 外光を感じる・外を眺める
- ③ 内と外をつなぐ中間
- ④ 集中できる
- ⑤ 他者と関わる
- ⑥ 日常的な習慣を身に付ける
- ⑦ 活動につかう道具が見える
- ⑧ みんなですごす
- ⑨ 1人になれる
- ⑩ 自分を表現する
- ⑪ シンボルがある
- ⑫ スタッフの存在を感じる
- ⑬ スタッフの働きやすさ

【見通しの検討】

- 環境づくりの目的 ① ⑫
- 児童 View
 - スタッフ View

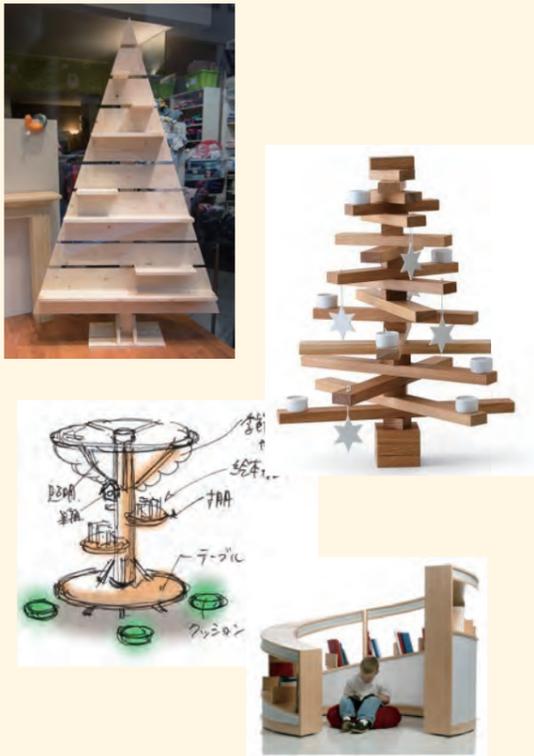
【パイロットプラン】



【子どもの記憶に残る空間演出の工夫】

子ども自身が制作した絵、工作等を展示するコーナーや、特徴ある家具、地元アーティストの作品、シンボルオブジェ等 子どもたちの感性を育み、第三の居場所の原風景となるための空間演出を推奨します

◆シンボルオブジェ



空間の象徴、シンボルになるオブジェ
季節毎のディスプレイを
スタッフと子どもと一緒に
伝統的な文化に触れる機会をつくる。本
棚、読書スペース等の機能も併せ持つ

◆作品展示コーナー



壁面の作品展示コーナー



工作する場所と展示を一体化

◆特徴的な家具



上段で視線が変わる体験や
下段で寝る場所が作れるロフトベッド



秘密基地ごっこ
落ち着いて過ごせる場所

◆アーティスト作品



地元のアーティスト、学生の作品
子どもたちとの共同制作

【屋内・屋外 各室リスト項目・凡例】

計画時最初に
部屋、コーナーの設置有無を協議、決定

各室の機能、目的

必要性の優先順位
A=必須 B=推奨 C=有益

【屋内】

施設毎 設置	室名	機能	什器、建具	設備	備品	優先順位			備考	
						A	B	C		
	玄関	児童の出入口・玄関	下駄箱			○	○			
			鍵付き扉				○			
				手洗いシンク				○		
				カメラ付きインターフォン						
					傘立て					○
					掲示板					○
					名札入れ					○
	スタッフ用玄関	職員出入口 宅配郵便受け取り	下駄箱			○	○			
			鍵付き扉							
				カメラ付きインターフォン						
	フリースペース	家のリビング的機能	テーブル			○			更衣室。事務室と調整 ちゃぶ台、ローテーブルでも可 クッション、座布団などでも可 おもちゃ、本等の収納	
			椅子、ソファ			○				
			本・おもちゃ収納棚				○			

◆検討：将来的に学童保育等の施設に変更する場合の対応

項目にNoを付け、学童を視野に入れる場合の必要項目を別途記載 記載例：学童保育に必要な機能=A-1 A-2 A-3

施設毎 設置	室名	機能	什器、建具	設備	備品	優先順位			備考	
						A	B	C		
	A 玄関	児童の出入口・玄関	1 下駄箱			○	○			
			2 鍵付き扉				○			
			3	手洗いシンク				○		
			4	カメラ付きインターフォン						
			5		傘立て					○
			6		掲示板					○
			7		名札入れ					○
			8		コート掛け					○
			9		持ち出し用防災バッグ			○		

【仕様リスト項目・凡例】

【仕様】

内装材選定の再の留意点

推奨素材 一例

適したエリア、コーナー一例

内装/建具	留意点	素材	コーナー	備考
床	アレルギー対策 メンテナンス考慮	フローリング	フリースペース、食事、自習スペース等	
		マーモリウム	キッチン	
		ビニールタイル	WC、浴室、キッチン	
壁	アレルギー対策 メンテナンス考慮	ビニールクロス	キッチン	
			WC、浴室、キッチン	
			フリースペース、食事、自習スペース等	

※内装材採用にあたっては住宅のインテリア向けの素材、意匠を重視する。

施設毎設置	室名	機能	アイテム			優先順位			備考		
			什器、建具	設備	備品	A	B	C			
A	玄関	児童及びスタッフの出入口・玄関	1	下駄箱			○			場所は玄関以外でも可	
			2	鍵付き扉（玄関扉）			○				
			3	手洗い場				○			
			4		インターフォン			○			
			5			傘立て		○			
			6			来客用スリッパ		○			
			7			掲示板			○		
			8			持ち出し用防災バッグ		○	○		
B	フリースペース	家のリビング的機能 パズル等の知育玩具で遊ぶ	1	テーブル			○			置き場所 要検討 ちゃぶ台、ローテーブルでも可 クッション、座布団などでも可 使用するもの、本等が近くに収納されている 個別の荷物を収納できるスペース等 プロジェクターも考慮 場所はフリースペース以外でも可	
			2	椅子、ソファ			○				
			3	本・おもちゃ収納棚				○			
			4	児童用収納棚、ロッカー			○				
			5		空調設備		○				
			6		テレビ・DVD				○		
			7		音楽プレイヤー				○		
			8		ホワイトボード壁				○		
			9			時計					
			10			加湿器・空気清浄器		○	○		
C	食事コーナー	食事、おやつを食べる	1	テーブル						食事コーナーはフリースペース兼用も可	
			2	椅子				○			
			3	食器棚							
			4	手洗い場					○		
			5		空調設備		○				
			6			時計			○		○
			7			加湿器・空気清浄器					○
D	キッチン	スタッフがおやつ、食事を調理 児童とスタッフが一緒に調理	1	作業台				○		システムキッチン・食器、調味料収納 システムキッチン、ガス・IH は問わない システムキッチン あとで列記 刃物の管理のため鍵付扉	
			2	収納棚			○	○			
			3	手洗い場					○		
			4		空調設備				○		○
			5		コンロ				○		
			6		シンク						
			7		洗浄用シンク				○		
			8		冷蔵庫		○				
			9		電子レンジ				○		
			10		食器洗浄機				○		
			11		食器保管用殺菌庫						○
			12		炊飯器		○				
			13		電気ポット				○		
			14		調理器具一式		○				
			15	鍵付き扉				○			
			16								
E	自習スペース	宿題、読書 スタッフが勉強をサポート 集中できる環境づくり	1	机、椅子			○			集中できる家具選択 場所は自習スペース以外でも可	
			2	スタッフ用椅子				○			
			3		空調設備		○				
			4		PC（LAN、電源）			○			
			5		ホワイトボード壁				○		
			6	本棚			○				

施設毎 設置	室名	機能	アイテム			優先順位			備考	
			什器、建具	設備	備品	A	B	C		
F	面談室	子ども、保護者とスタッフの面談 応接間的な機能	1	テーブル						
			2	ソファ、椅子						
			3	棚						
			4		空調設備					
			5			時計				
G	休憩室	体調不調の子が静かに過ごす 横になって休む、仮眠をとる (面談室の兼用可)	1	ベッド			○			
			2	ローテーブル				○		
			3		空調設備					
			4			電気スタンド		○	○	
			5			加湿器・空気清浄器				
H	洗面台、脱衣所		1	手洗いシンク						
			2	ペーパーホルダー、タオル掛け				○	○	ペーパーホルダー
			3		洗濯機					
			4		乾燥機					洗濯機の乾燥機能でも可
			5		換気扇			○		
			6		鏡				○	
			7			ゴミ箱		○	○	
			8	収納棚					○	脱衣所用 タオル、消耗品の収納
I	トイレ	WC は可能であれば男女別 男女各 1 か所ずつ。 洗面台では歯磨き等も行う	1	手洗いシンク						
			2	ペーパーホルダー、タオル掛け						
			3		便器				○	ペーパーホルダー
			4		ウォシュレット便座				○	
			5			ゴミ箱		○		
			6	収納棚						○
J	浴室	ユニットバス又はユニットシャワー	1		浴室設備			○	ユニットバス、又はシャワー	
			2		換気扇			○	窓があると尚良い	
			3		浴室乾燥機				○	
			4	収納棚						○
K	倉庫	消耗品、防災用品	1	棚			○	○		
			2			収納ボックス			○	
			3			非常時備蓄			○	非常時の備蓄（水、食品等）収納。避難用防災バッグは別
L	事務室	スタッフのデスク、書類の管理 休憩室も兼ねる	1	机・椅子						
			2	収納棚						
			3	鍵付扉					○	書類の管理のため、扉は鍵付
			4		PC (LAN、電源)					
			5		プリンター			○	○	
			6		電話・FAX				○	
			7			ゴミ箱			○	
			8			時計			○	
M	更衣室 (事務室と兼用も可)	スタッフ用更衣室	1	鍵付ロッカー						
			2	鍵付扉						
			3		姿見 (鏡)					○
			4			ゴミ箱		○		
			5			時計			○	

【屋 外】

施設毎設置	エリア・コーナー	機 能	No	什器、建具	設 備	備 品	優先順位			備 考	
							A	B	C		
A	駐車場	送迎バス、車の駐車	1	屋根				○		駐車台数の設定	
B	自転車置き場	スタッフの利用	1	自転車ラック				○		駐輪台数の設定	
			2	雨除け屋根				○			
C	ベランダ	室内から出られる遊び場	1	屋根					○		
			2	ウッドデッキ	○				○		
			3	目隠し（ラティス）				○			
			4		○	植物プランター					家庭菜園等
			5			簡易プール				○	夏場の水遊び
			6		○				○		
D	外構サイン	施設名の表示 パズル等の知育玩具で遊ぶ	1	屋外仕様サイン				○		認識しやすい文字サイズ、屋外用仕上げ材、色、を採用	
			2		照明				○	夜間用 サイン用照明	
			3		ポスト				○	必要性の協議	
E	外装・壁	周囲に溶け込む意匠を重視	1					○		施設ではなく、一般住宅の佇まいとする	

【参考 内装仕様】 ※内装材採用にあたって=住宅のインテリア向けの素材、意匠を重視する。

内装／建具	留意点	什器、建具	コーナー	備 考
床	アレルギー対策 清掃・メンテナンス考慮	フローリング	活動エリア・スタッフステーション・相談室	住宅のインテリアに採用する素材
		マーモリウム	活動エリア・スタッフステーション・相談室	
		ビニールタイル	WC、浴室、キッチン	
		長尺フロアシート	キッチン	
壁	アレルギー対策 清掃・メンテナンス考慮	ビニールクロス	活動エリア・スタッフステーション・相談室	
		塗装	キッチン	
			WC、浴室	
天井		ビニールクロス	活動エリア・スタッフステーション・相談室	岩綿吸音板でも可
扉	安全面（指はさみ） セキュリティ確保	木質素材	全般	とびら小口にシリコン在りの建具
		鍵付	全般	建具上部に鍵を設置（こどもの手が届きにくい位置）
窓	安全面（破損対策、指はさみ） セキュリティ確保	鍵・ハンドル	全般	飛散防止フィルム貼り
				鍵を設置（こどもの手が届きにくい位置）
				適切な自然光を採光。
照明	基本照明・間接照明計画 手元照明（電気スタンド）	ダウンライト	全般	
		FL	全般	
		間接照明	相談室・休憩室	落ち着いた空間づくり
		手元照明	活動エリア（学ぶコーナー）	学習、読書に適した照明器具採用